高知県感染症発生動向調査（月報）

高知県感染症情報センター
高知県衛生環境研究所
TEL:088-821-4961　FAX:088-821-4696

2026年10月

全国情報

第40週(9月28日～)から第44週(～11月1日)までの5週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における上位6疾患の合計を4週間に換算すると73.05で9月の61.03と比べて増加した。増加の主たる原因はインフルエンザの増加である。インフルエンザは第25週以降に増加し、第34週（8月17日～23日）に流行期に入った。インフルエンザの流行が8月に始まるのは、新型インフルエンザのパンデミックが起きた2019年以来である。2026年第27～37週（6月29日～9月13日まで）に全国で報告されたA(H1N1)pdm09亜型、A(H3N2）亜型およびB/Victoria系統の割合は、それぞれ94.5%（188株）、5.5%（11株）および0%であり、いまのところA(H1N1)pdm09亜型が主たる流行株である（https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/pathogens/vol47/561/561p01.html）。

新型コロナウイルス感染症について、2023年5月以降の全国と高知県における定点報告数を図1に示す。本年の夏の流行規模は昨年までに比べて小さかった。

1位はインフルエンザで4週換算値が42.39と（9月1位24.48）増加した。2位は感染性胃腸炎で12.60（9月2位13.58）、3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で5.34（同5位5.04）、4位はRSウイルス感染症で4.72（同6位4.22）といずれも横ばいだった。5位は新型コロナウイルス感染症で4.38（同3位8.42）と減少した。6位はヘルパンギーナで3.62（同7位3.85）と横ばいだった。急性呼吸器感染症は4週換算値が246.66で9月の212.49と比べて増加した。

表1　各週定点当たり報告数（全国）

No	疾病名＼週	40週	41週	42週	43週	44週	計
1	インフルエンザ	11.35	12.81	9.08	9.49	10.26	52.99
2	感染性胃腸炎	3.28	3.22	2.82	3.18	3.25	15.75
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.29	1.42	1.19	1.36	1.41	6.67
4	RSウイルス感染症	1.03	1.42	1.09	1.12	1.24	5.90
5	新型コロナウイルス感染症	1.51	1.44	0.89	0.83	0.80	5.47
6	ヘルパンギーナ	1.10	1.30	0.74	0.71	0.68	4.53
	急性呼吸器感染症	60.34	69.78	56.70	60.51	61.00	308.33

県内情報

１．全国との対比（定点当たり報告数）

高知県内における上位6疾患の報告数（表2）の合計を4週間に換算すると46.35で9月の32.33と比べて増加したが全国よりも少なかった。

1位はインフルエンザで4週換算値が25.46（9月1位9.97）と増加したが全国よりも少なかった。2位は感染性胃腸炎で7.11（同3位5.58）、3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で4.73（同5位2.48）といずれも増加したが全国よりも少なかった。4位は新型コロナウイルス感染症で4.18（同2位9.33）と減少し全国と同等だった。5位はRSウイルス感染症で2.98（同4位2.96）、6位はヘルパンギーナで1.90（同7位1.78）といずれも横ばいで全国よりも少なかった。

急性呼吸器感染症の4週換算値は178.74で9月149.30と比べて増加したが全国よりも少なかった。

表2　各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名 ＼ 週	40週	41週	42週	43週	44週	計
1	インフルエンザ	6.54	7.28	5.00	5.77	7.23	31.82
2	感染性胃腸炎	0.89	2.14	1.86	2.33	1.67	8.89
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.58	1.52	1.00	1.33	1.48	5.91
4	新型コロナウイルス感染症	1.62	1.46	0.92	0.72	0.51	5.23
5	RSウイルス感染症	0.63	0.95	0.81	0.81	0.52	3.72
6	ヘルパンギーナ	0.42	0.67	0.14	0.24	0.90	2.37
	急性呼吸器感染症	41.89	46.97	41.69	44.38	48.49	223.42

図1　新型コロナウイルス感染症 定点当たり報告数
-全国と高知県-

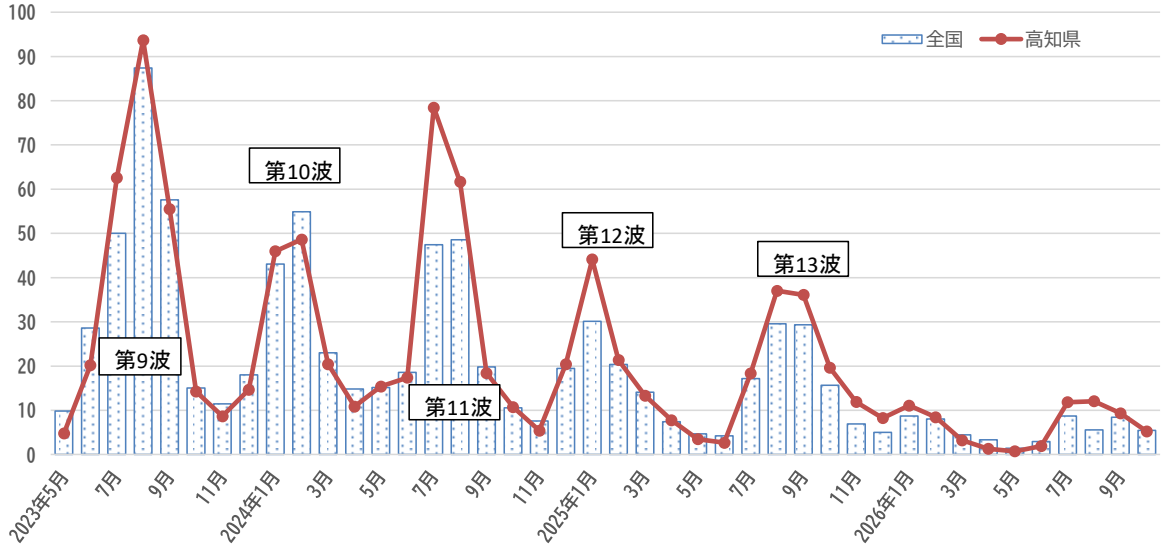


図2 高知県シーズン別インフルエンザ流行株推移

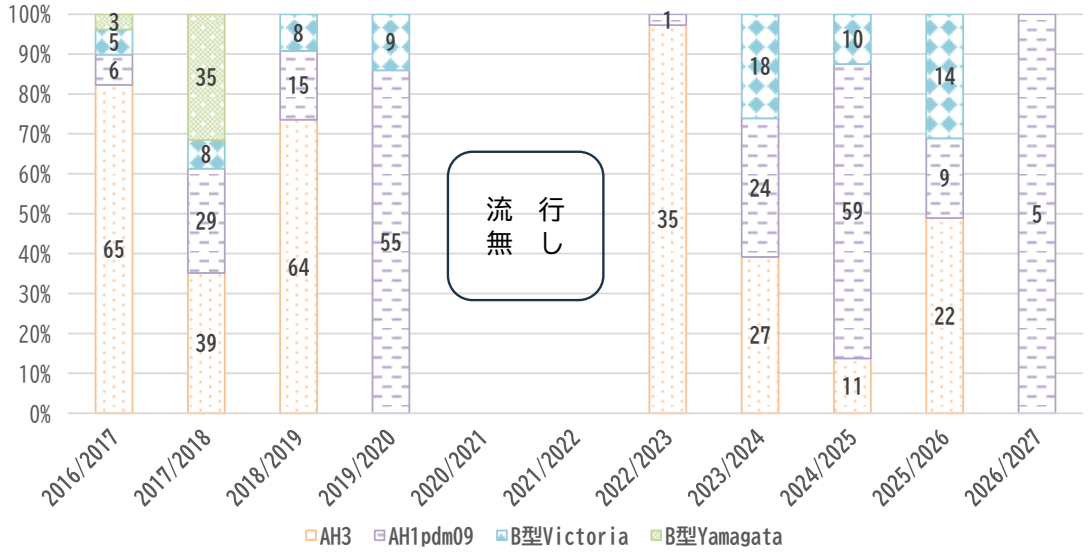


表3　2026年　高知県で検出された新型コロナウイルスの変異株

	NB.1.8.1系統				BA.3.2系統	その他		
月	PQ.2.8.1	PQ.2.1	RC.1	SV.1.2	SS.2	RF.5.3	総計	検体数
1	2	1	1				4	8
2							0	
3							0	1
4							0	
5							0	
6					1		1	1
7					2		2	2
8					3		3	5
9					1	1	2	4
10				1	1		2	2

２．全体の傾向

麻しん、風しんの報告無し。

麻しんは、第43週（10月28日）までに国内で581例の麻しん患者が報告され、これは2019年以来の大きな流行であるが、6月以降は報告数のペースが鈍っている。32都道府県から報告があり、最多は東京で272例、神奈川 49例、埼玉40例、鹿児島と千葉が34名、愛知 28名の順に多い。四国では10月に愛媛県から3例の報告があった。20歳以上の成人例が71%を占めている。今年の流行は国内での感染例が多くなったが、国外で感染した49例の内訳は、インドネシアが16名で最多、ニュージーランドが7名、ベトナム5名、インドとバングラデシュが4名と続いている。

ワクチン2回接種の徹底が麻しん対策において最も重要であり、95%の接種率が目標となっている。しかし、高知県では2025年度に第1期が92.9%、第2期は89.6%で、接種率が目標に到達していない。

３．主な疾患の発生状況

1）急性呼吸器感染症

報告数　8,630名（9月　5,524名）。県下全域から報告があり、高知市、中央西、中央東、安芸、幡多、須崎の順に多かった。9月はInfluenza virus AH1pdm09が4件、SARS-CoV-2が2件、Respiratory syncytial virus Aが2件、Human metapneumovirusが1件検出された。10月はSARS-CoV-2が5件、Influenza virus AH1pdm09が1件検出された。8月以降に提出された検体の100%からウイルスが検出されている。

2）インフルエンザ

報告数　1,228名（9月　369名）。2023年以降は一年中報告がゼロになることはなく、2025/26シーズンは 11月から流行が始まり、12月をピークに高知県としては標準的な規模の流行で、AH3 NTが22件、B/Victoriaが14件検出され、これらが主な流行株であった。過去10年間の流行株と検出率を図2に示す。2020/21、21/22シーズンは新型コロナウイルス感染症のパンデミックのためインフルエンザの流行がみられなかった。2018/19シーズン以降は、AH3 NT, AH1pdm09, B/Victoriaの3亜型のウイルスのうち1～3亜型が流行株となった。2026/27シーズンは全国と同様に、AH1pdm09亜型が（最初の）流行株となっている。

本年は7月に増加に転じたが、この傾向は3年連続である。8月になって定点報告数が週ごとに増加し、第34週0.78から第35週1.59と１を超え、2026/27の流行が始まった。県下全域から報告され、高知市、中央東、中央西、幡多、安芸、須崎の順に多く報告された。8月以降に急性呼吸器感染症の患者からInfluenza virus AH1 pdm09が6件検出されている。

3）新型コロナウイルス感染症

報告数　201名（9月　345名）。図1に2023年5月以降の定点報告数を示す。2022年以降は年末年始と夏に流行がみられていたが2025/26年は年末年始のピークを形成しなかった。夏は6月に増加に転じたが流行規模はこれまでよりも小さい。県下全域から報告され、中央西、高知市、幡多、須崎、安芸、中央東の順に多かった。県下でのウイルス株に関する8～10月の解析では、BA.3.2系統のSS.2が5件、NB.1.8.1系統のSV.1.2が1件、その他の系統のRF.5.3が1件検出されている（表3）。

4）咽頭結膜熱

報告数　12名（9月　16名）。中央東、幡多、高知市から報告された。アデノウイルスは検出されていない。

5）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
報告数　123名（9月　47名）。2024年は過去10年間で最多だったが、2025年以降は平年並で推移している。県下全域から報告があり、須崎、幡多、高知市、安芸、中央西、中央東の順に多く報告された。細菌は検出されていない。

6）感染性胃腸炎
報告数　185名（9月　106名）。2020年以降は少ない数で推移し、2025年3月に増加がみられたが、その後は平年よりも少ない。7月～9月は同時期として過去10年で最少だったが、10月は平年並だった。須崎以外から報告があり、幡多と高知市で特に多かった。病原体は検出されていない。

7）水痘
報告数　4名（9月　8名）。ワクチン定期化の効果で少ない数で推移している。高知市で2名、幡多と中央東で1名が報告された。

8）手足口病
報告数　10名（9月　15名）。2024年は過去10年で最大の流行でCoxsackievirus A6、A10、A16の3種類のウイルスが流行した。2026年の流行規模は平年並だった。中央西、幡多、須崎、高知市から報告された。流行が始まった5月以降に手足口病の患者からCoxsackievirus A6が22件、7月に同A10が1件検出された。

9）伝染性紅斑
報告数　3名（9月　3名）。2024年10月から増加し、2025年は過去10年間で最多の報告数となった。安芸、中央東、高知市から1名ずつ報告された。突発性発疹と診断された9歳女子からparvovirus B19が1件検出された。

10）突発性発疹
報告数　13名（9月　6名）。想定内の変動である。

11）ヘルパンギーナ
報告数　49名（9月 34名）。2022年は過去10年間で最小、2023年は最大の流行だった。2025年は5～10月に流行し、流行株はCoxsackievirus A4であった。2026年も5月から流行が始まり、規模は大きくないが発生が続いている。幡多、中央西、高知市、中央東から表記の順に多く報告された。今季は2024年と同様に流行ウイルスが特定されずに終わりそうである。

12）流行性耳下腺炎
報告数　0名（9月　0名）。2020年5月以降は一桁の報告数で推移している。

13）RSウイルス感染症
報告数　77名（9月　56名）。2021年から5年連続で夏季の流行をみとめた。2026年は1月から増加に転じその後は微増を続け、5月以降は波打ちながら報告が続いているが、大きな流行には至っていない。県下全域から報告され、高知市、中央東、須崎、安芸、中央西、幡多の順に多かった。ウイルスは検出されていない。

14）流行性角結膜炎
報告数　0名（9月　0名）。2018年10月以降は一桁の報告数で推移している。

15）細菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）
報告数　0名（9月　2名）。2017年以降は年間一桁の報告数で推移したが、2024年は11名に達した。25年は5名、本年は8名が報告されている。

16）無菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）
報告数　0名（9月　0名）。2017年以降は年間10名以下の少ない報告数で推移している。

17）マイコプラズマ肺炎（基幹定点の報告疾患）
報告数　12名（9月　16名）。2024年は過去10年間で最大の流行となり、同10月をピークに減少に転じたが25-26年も増減を繰り返しながら報告は続いている。幡多、高知市、安芸から表記の順に多く報告された。

基幹定点の月報疾患

18）メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数　30名（9月　17名）。高知市、幡多、中央東、安芸から報告があった。

19）ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数　0名（9月　0名）。年間0～2名の報告にとどまっていたが、2025年は累計4名が報告された。26年は2例が報告されている。

高知県感染症発生動向調査部会
前田　明彦

【参考】

年別全数報告（令和8年10月）

病名	報告年														
	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
結核	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	62	59	53
計	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	62	59	53
コレラ															
細菌性赤痢						2									
腸管出血性大腸菌感染症	8	3	5	2	34	2	4	9	1		3	7	5	12	13
腸チフス				1				1							
パラチフス															
計	8	3	5	3	34	4	4	10	1	0	3	7	5	12	13
A型肝炎				3	1			2					1	1	
E型肝炎	1							2	1		1				2
オウム病						1									
Q熱															
サル痘												1			
ジカウイルス感染症															1
重症熱性血小板減少症候群		3	11	3	7	5	5	9	6	4	8	10	10	15	7
つつが虫病	8	3	3		4	11	2	3	3	1	5	11	3	6	2
デング熱		3	2	1				2							1
日本紅斑熱	4	1	7	4	13	6	13	10	23	16	12	16	9	25	12
日本脳炎															
マラリア								1				1	1		
レジオネラ症	9	2	4	4	3	6	9	7	8	8	8	7	8	11	3
レプトスピラ症	2	1				1						1		1	2
計	24	13	27	15	28	30	29	36	41	29	34	47	32	59	30
アメーバ赤痢	3		7	3	2	5	3	3		1	5	1	1		1
ウイルス性肝炎	3		1			2	1	1	2	2	2	1		2	
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症			7	19	21	22	21	20	10	5	12	9	11	13	9
急性弛緩性麻痺							1	2				1	2		
急性脳炎	1		1	1	1	1		2	1	1	2			2	1
クロイツフェルト・ヤコブ病			2			2	1	1	3		1	1		1	2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3		1		3	5	6	2	2	5	4	1	6	2	7
後天性免疫不全症候群	3	2	7	6	9	6	9	1	6		6	2	4	3	
ジアルジア症	1						1							2	
侵襲性インフルエンザ菌感染症			1	5	3	4	7	3	1	1	3	7	9	7	3
侵襲性肺炎球菌感染症		1	4	12	16	18	14	22	11	9	6	12	18	17	14
水痘（入院例に限る）				2	1	1	3		3	3	3	1		1	1
髄膜炎菌性髄膜炎														5	
多剤耐性緑膿菌感染症															1
梅毒	10	8	4	11	12	23	19	20	35	96	51	62	40	36	33
播種性クリプトコックス症					1	3	5				4	3	1		3
破傷風	1		4	3	3	1		2	3	1	3	1	1	2	1
バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1		1	1								
百日咳							173	172	35	3	9	7	4	1327	46
風しん	4	9	1				3								
麻しん														4	
計	29	20	40	63	72	94	268	251	112	127	111	109	97	1,424	122
鳥インフルエンザ															
計															
	193	164	210	210	256	238	398	400	214	221	221	216	196	1,554	218

月別全数報告数

類型	病名	報告月										総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
2	結核	4	2	10	7	5	5	6	4	6	4	53
3	腸管出血性大腸菌感染症		1	1	3		4		1	2	1	13
4	E型肝炎							1			1	2
	ジカウイルス感染症									1		1
	重症熱性血小板減少症候群				1	2	1	1			2	7
	つつが虫病		1								1	2
	デング熱		1									1
	日本紅斑熱				2	1	1		2	2	4	12
	レジオネラ症	1								1	1	3
	レプトスピラ症									1	1	2
5	アメーバ赤痢										1	1
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症				2		3	3		1		9
	急性脳炎							1				1
	クロイツフェルト・ヤコブ病						1			1		2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1			2				2	1	1	7
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1							1		1	3
	侵襲性肺炎球菌感染症	2		2	1	4	1	2	1	1		14
	水痘（入院例）										1	1
	多剤耐性緑膿菌感染症									1		1
	梅毒		7		3	3	2	3	5	4	6	33
	播種性クリプトコックス症						1		1	1		3
	破傷風										1	1
	百日咳	9	6	5	1	2	5	5	8	2	3	46
総計		18	18	18	22	17	24	22	25	25	29	218

高知県感染症情報　月報（56定点医療機関）

2026年　10月

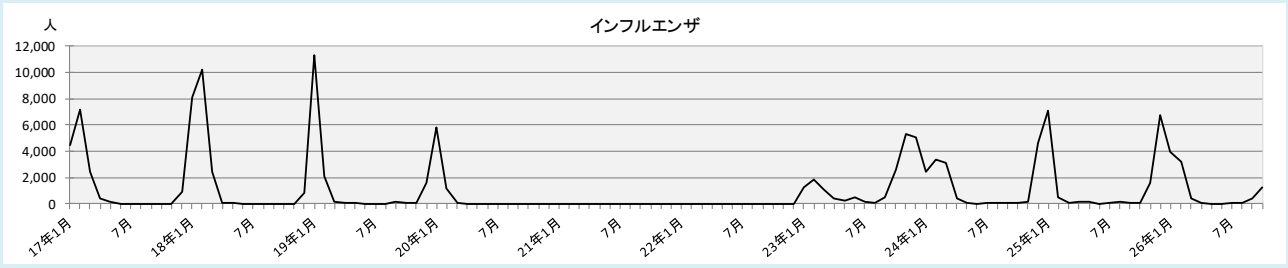
定点名	疾病名＼保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
急性呼吸器感染症	急性呼吸器感染症（ARI）	505	1,115	4,675	919	519	897	8,630	5,524	7,350
	インフルエンザ	66	263	529	142	46	182	1,228	369	88
	新型コロナウイルス感染症	8	13	90	38	17	35	201	345	745
小児科	咽頭結膜熱		5	5			2	12	16	18
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	17	46	9	18	23	123	47	94
	感染性胃腸炎	11	5	106	9		54	185	106	186
	水痘		1	2			1	4	8	18
	手足口病			3	4	1	2	10	15	26
	伝染性紅斑	1	1	1				3	3	108
	突発性発疹	3		7	2		1	13	6	22
	ヘルパンギーナ		3	11	10		25	49	34	17
	流行性耳下腺炎									2
	RSウイルス感染症	3	17	49	2	5	1	77	56	206
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎									
STD	性器クラミジア感染症			12			1	13	10	6
	性器ヘルペスウイルス感染症			1				1		1
	尖圭コンジローマ						1	1	1	
	淋菌感染症			4				4	1	3
基幹	細菌性髄膜炎								2	
	無菌性髄膜炎									
	マイコプラズマ肺炎	1		8			3	12	16	48
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）									
	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）									
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	2	23			4	30	17	29
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
計(ARIを除く)		104	327	897	216	87	335	1,966	1,052	1,617
前月		37	119	488	122	105	181			
前年同月		48	206	804	160	135	264			
小児科定点数		2	4	8	2	2	3			

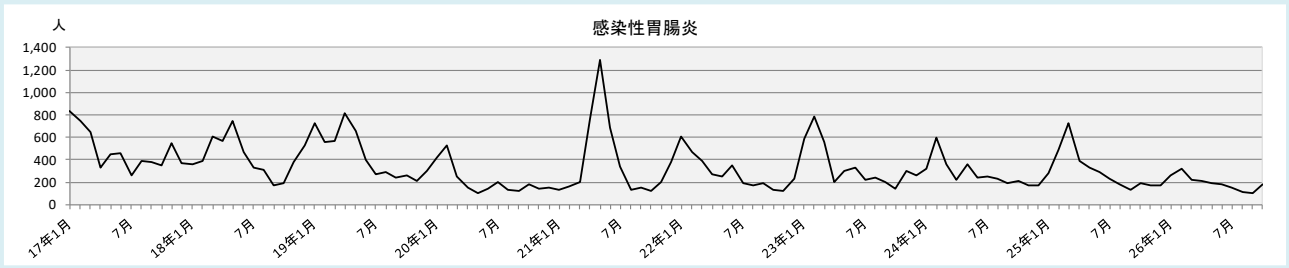
高知県感染症情報　月報（56定点医療機関）

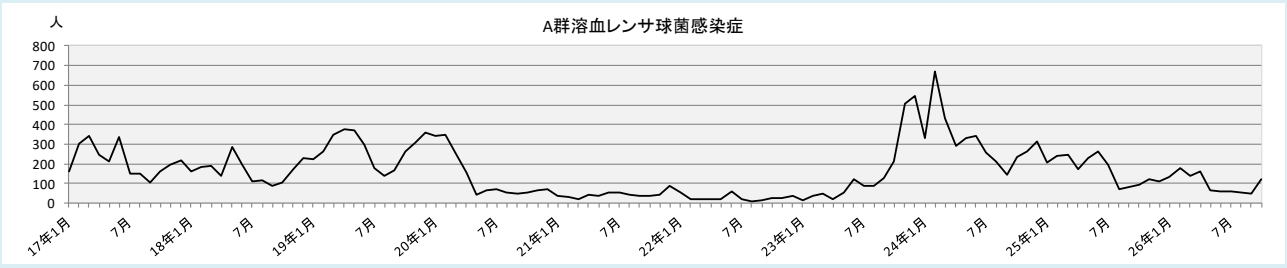
2026年　　10月　　定点当たりの人数

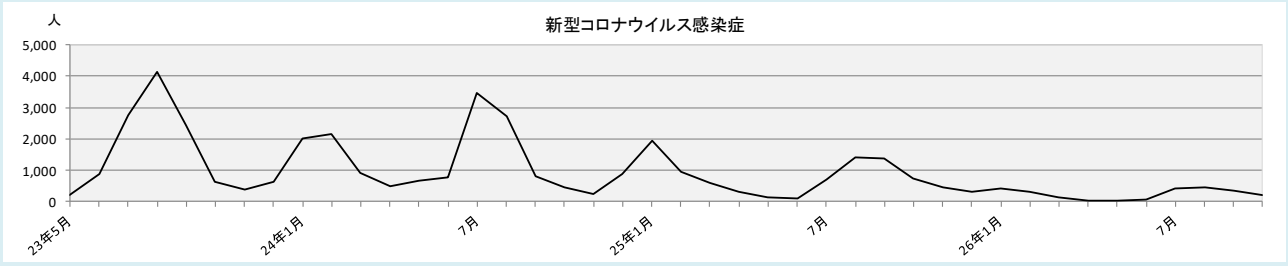
定点名	疾病名＼保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
急性呼吸器感染症	急性呼吸器感染症（ARI）	131.92	159.28	359.62	229.75	129.75	129.90	223.42	149.30	193.42
	インフルエンザ	16.75	37.57	40.68	35.50	11.50	26.35	31.82	9.97	2.32
	新型コロナウイルス感染症	2.25	1.86	6.92	9.50	4.25	5.17	5.23	9.33	19.61
小児科	咽頭結膜熱		1.25	0.63			0.66	0.58	0.85	0.90
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5.00	4.25	5.76	4.50	9.00	7.67	5.91	2.48	4.70
	感染性胃腸炎	6.00	1.25	13.26	4.50		18.00	8.89	5.58	9.30
	水痘		0.25	0.25			0.33	0.19	0.43	0.90
	手足口病			0.38	2.00	0.50	0.66	0.48	0.79	1.30
	伝染性紅斑	0.50	0.25	0.13				0.15	0.16	5.40
	突発性発疹	1.50		0.88	1.00		0.33	0.64	0.31	1.10
	ヘルパンギーナ		0.75	1.39	5.00		8.33	2.37	1.78	0.85
	流行性耳下腺炎									0.10
	RSウイルス感染症	1.50	4.25	6.15	1.00	2.50	0.33	3.72	2.96	10.30
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎									
STD	性器クラミジア感染症			6.00			0.50	2.17	1.67	1.00
	性器ヘルペスウイルス感染症			0.50				0.17		0.17
	尖圭コンジローマ						0.50	0.17	0.17	
	淋菌感染症			2.00				0.67	0.17	0.50
基幹	細菌性髄膜炎								0.26	
	無菌性髄膜炎									
	マイコプラズマ肺炎	1.00		1.60			3.00	1.51	2.01	6.01
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）									
	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）									
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.00	2.00	4.60			4.00	3.75	2.13	3.63
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
小児科定点分計		35.50	53.68	91.13	63.00	27.75	75.83	59.98	34.64	56.78
前月		20.32	24.52	52.77	36.25	36.25	43.17			
前年同月		19.01	35.11	77.92	52.75	46.00	52.83			

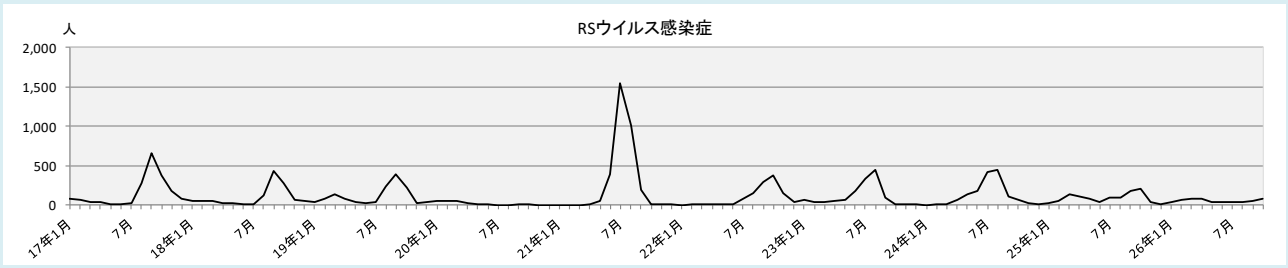
高知県の注目される疾患の月別推移

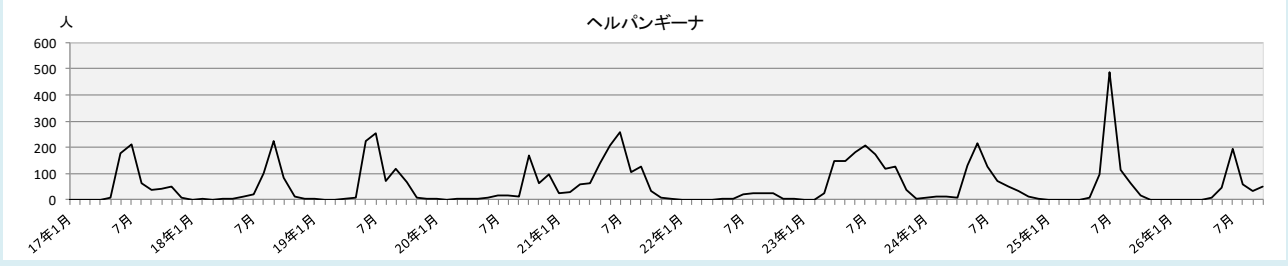












高 知 県 感 染 症 情 報 （月報）

2026年10月

検査情報

ウイルス， 細菌の分離状況

令和8年10月はウイルス7件の搬入があり、そのうち ウイルス8件の病原体を検出し、9月に搬入された検体からウイルス2件が検出された。検出ウイルスの内訳は、 Human herpes virus 7 1件、human parvovirus B19 1件、Influenza virus A H1pdm09 1件、SARS-CoV-2 7件であった。

ウイルス， 細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	6	男	急性呼吸器感染症（COVID19）	38℃,咳嗽,	唾液	8/25	SARS-CoV-2(BA.3)
2	53	男	急性呼吸器感染症（COVID19）	39℃,咳嗽,	唾液	9/3	SARS-CoV-2(解析不能)
3	13	女	急性呼吸器感染症（COVID19）	39℃,咳嗽,	唾液	9/15	SARS-CoV-2(解析不能)
4	51	女	急性呼吸器感染症（COVID19）	39℃,咳嗽,	唾液	9/18	SARS-CoV-2(BA.3)
5	87	男	急性呼吸器感染症（COVID19）	38℃,嘔吐,咳嗽,肺炎,	喀痰	9/26	SARS-CoV-2(BA.2)
6	13	男	急性呼吸器感染症（COVID19）	38℃,	唾液	9/28	SARS-CoV-2(BA.3)
7	11	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	39℃,咳嗽,	ぬぐい液	9/29	Influenza virus A H1pdm09
8	9	女	突発性発しん	発疹,	ぬぐい液	10/13	human parvovirus B19 Human herpes virus 7
9	84	男	急性呼吸器感染症（COVID19）	咳嗽,	喀痰	10/13	SARS-CoV-2(NB.1)

臨床診断名	病原微生物	2026年										2026年総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	*Streptococcus pyogenes* T4			1								1
	Streptococcus pyogenes TB3264			2								2
	計			3								3
RSウイルス感染症	Adenovirus 1			1								1
	Respiratory syncytial virus B			2								2
	計			3								3
咽頭結膜熱	Adenovirus 1											0
	Adenovirus 2											0
	Adenovirus 5											0
	Adenovirus 11								1			1
	Adenovirus C											0
	Respiratory syncytial virus B			1								1
	計			1					1			2
インフルエンザ	Influenza virus A H1pdm09											0
	Influenza virus A NT											0
	Influenza virus A H3 NT	1										1
	Influenza virus B/Victoria											0
	計	1										1
感染性胃腸炎	*Escherichia coli afaD*								1			1
	Astrovirus NT		2									2
	Norovirus GII NT	1	4	1	5	7			1			19
	Sapovirus genogroup unknown		1						2	1		4
	Rhinovirus					1		1				2
	Escherichia coli astA(+)									1		1
	計	1	7	1	5	8		1	4	2		29
水痘	Human herpes virus 7				1	1						2
	Influenza virus A NT	1										1
	Influenza virus A H3 NT	1										1
	Varicella-zoster virus	2			1	1			1			5
	Rhinovirus						1					1
	計	4			2	2	1		1			10

臨床診断名	病原微生物	2026年										2026年総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
手足口病	Coxsackievirus A4											0
	Coxsackievirus A6					2	10	7	3			22
	Coxsackievirus A10							1				1
	Cytomegalovirus					1	3	2				6
	Enterovirus71											0
	Epstein-Barr virus		1									1
	Human herpes virus 6					2	3	1				6
	Human herpes virus 7		2			1	2					5
	human parvovirus B19						1	1				2
	Rhinovirus		1				3	1				5
	計		4			6	22	13	3			48
伝染性紅斑	Epstein-Barr virus			1								1
	Human herpes virus 6											0
	Human herpes virus 7		1	1	1			1	1			5
	human parvovirus B19			1	1							2
	Rhinovirus	1										1
	計	1	1	3	2			1	1			9
突発性発疹	Echovirus 18											0
	Epstein-Barr virus					1						1
	Human herpes virus 6			1		1						2
	Human herpes virus 7										1	1
	human parvovirus B19										1	1
	計			1		2					2	5
流行性耳下腺炎	Rhinovirus			1		1						2
	計			1		1						2
無菌性髄膜炎	Rhinovirus						1					1
	計						1					1
その他	Adenovirus 1		1									1
	Adenovirus 2		1									1
	Adenovirus C				1							1
	Astrovirus NT				1							1
	Coxsackievirus A6						1	2		1		4
	Cytomegalovirus	1	3						1			5
	Epstein-Barr virus	1		1								2
	Human herpes virus 6								1			1
	Human herpes virus 7	1	2		1			2	2			8
	Norovirus GI NT				1							1
	Norovirus GII NT	1	1					1	1			4
	Parechovirus 3							1				1
	Respiratory syncytial virus B		1									1
	Rhinovirus	2	3	1	1	2		3	3			15
	Rotavirus group A G3		1									1
	計	6	13	2	5	2	1	9	8	1	0	47
総計		13	25	15	14	21	25	24	18	3	2	160

臨床診断名	病原微生物	2026年										2026年総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
急性呼吸器感染症	Adenovirus NT	1										1
	Adenovirus C							1				1
	Adenovirus 2					1						1
	Coxsackievirus A6							1				1
	Enterovirus NT	1	2									3
	Human metapneumovirus		1							1		2
	Influenza virus A H1pdm09								1	4	1	6
	Influenza virus A H3 NT	4	3									7
	Influenza virus A NT	1	1									2
	Influenza virus B/Victoria	3	5		1							9
	Parainfluenza virus 1							1				1
	Parainfluenza virus 2	2										2
	Parainfluenza virus 3							1				1
	Parainfluenza virus 4	1	1									2
	Respiratory syncytial virus A	1	1	1						2		5
	Respiratory syncytial virus B		1	3	1							5
	Rhinovirus	5	2	1	1	1		1	1			12
	SARS-CoV-2	8			1			2	5	2	5	23
検査検体数		20	13	6	4	2	0	7	6	8	6	72
検出検体数		19	12	5	3	2	0	6	6	8	6	67
検出率（%）		95.0	92.3	83.3	75.0	100.0		85.7	100.0	100.0	100.0	93.1

1つの検体から複数の病原体が検出された場合は、検出された全ての病原体を計上しています。